

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

OMEGA

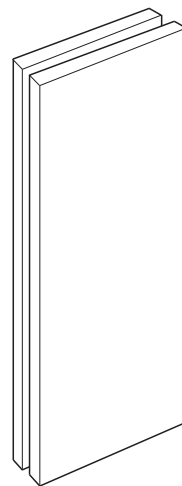



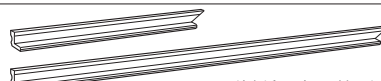
収納扉

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

!

施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

扉梱包 (扉本体)			枠梱包		
			部材名		
			①	上枠／レール付 (1)	
			②	下枠／レール付 (1)	
			③	縦枠 (2)	
			④	ケーシング (上用:1) (縦用:2) ※ケーシングタイプのみ	 ※片側留め加工付となります。 尚、上枠は現場にてもう片方も留め加工にカットしてください。
幅30用	幅45・60用	幅90用	枠		ケーシング (④) ※ケーシングタイプのみ
1梱包	2梱包	3梱包	1梱包		1梱包

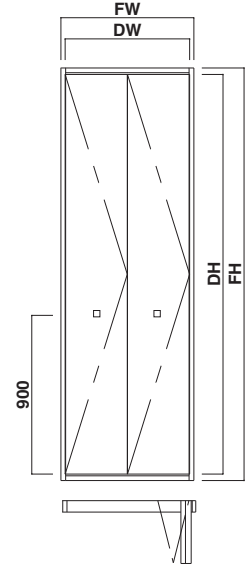
※①～④は「枠の組立てと取付け」を参照してください。

部品梱包	躯体取付ビス	躯体取付ビス (キャップ付)	枠組立ビス	取手	片開 キャッチセット	ガイドローラー	上用吊戸車 ランナー ※フルオープン用	上下軸受	走行安定ガイド	ガイドローラー 打ち込みパイプ	下レール用ビス ※ピボット用	上レール用ビス ※ピボット用	上レール用ビス ※フルオープン用	調整スバナ
幅30用	4	12	8	2	—	4	—	各1	—	1	5	5	—	1
幅45用	4	12	8	3	1	6	—	各2	—	1	5	5	—	1
幅60用	6	12	8	4	—	8	—	各2	—	1	5	5	—	1
幅60用 フルオープン	6	12	8	4	—	4	4	—	2	1	5	—	5	1
幅90用	8	12	8	6	—	10	2	各2	—	1	7	—	7	1
幅90用 フルオープン	8	12	8	6	—	6	4	—	3	1	7	—	7	1

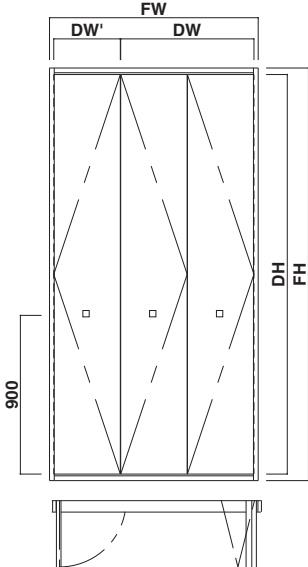
納まり図

固定枠

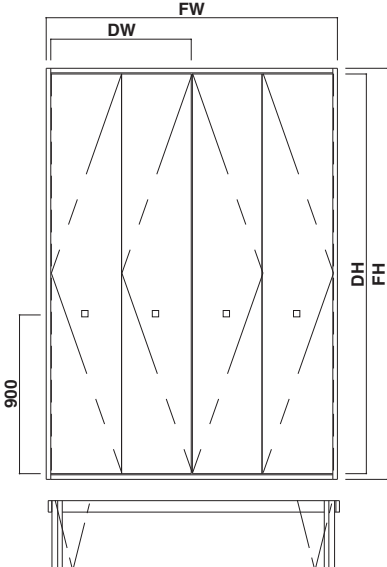
<姿図／幅30用>



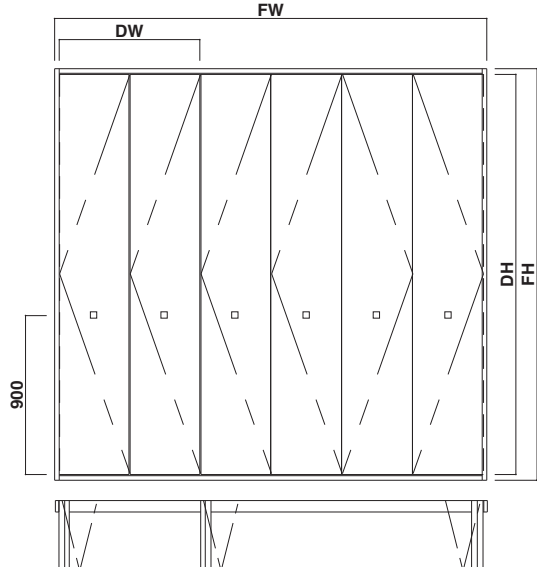
<姿図／幅45用>



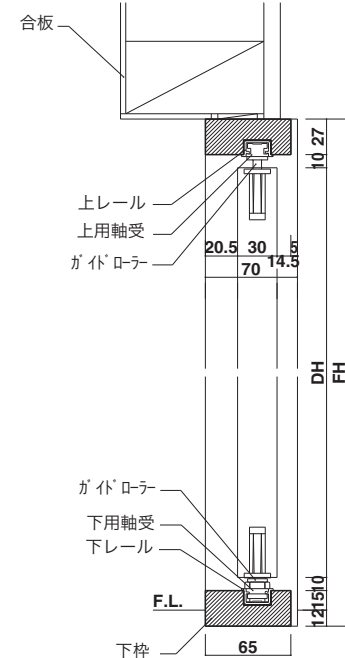
<姿図／幅60用>



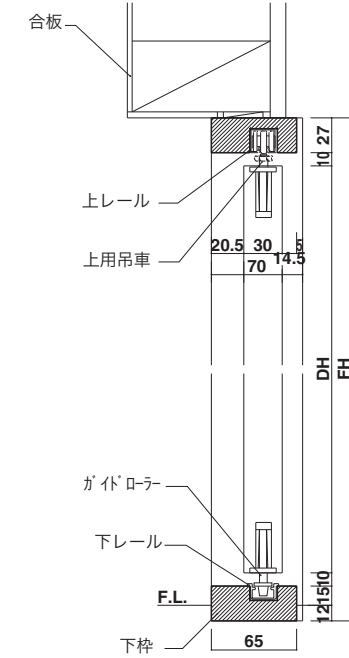
<姿図／幅90用>



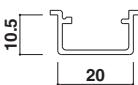
<縦断面図／ピボット>



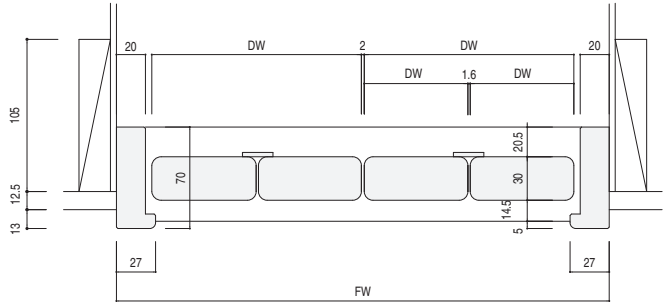
<縦断面図／フルオープン>



<下レール断面図>

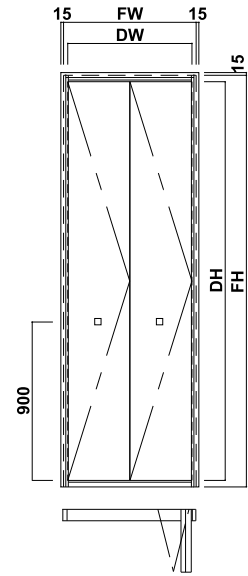


<横断面図>

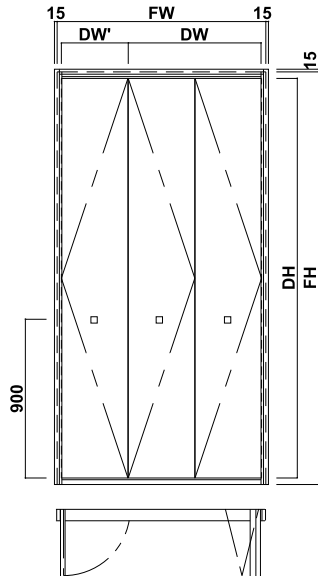


ケーシング枠

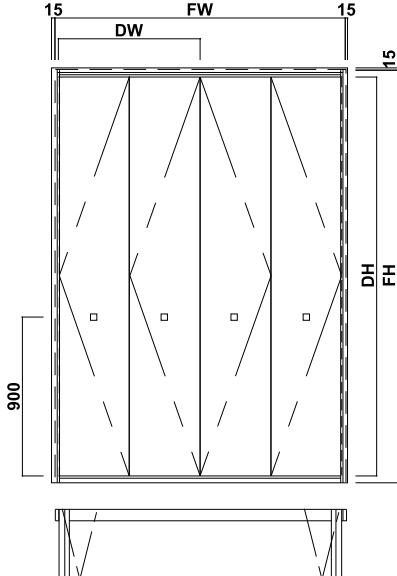
＜姿図／幅３０用＞



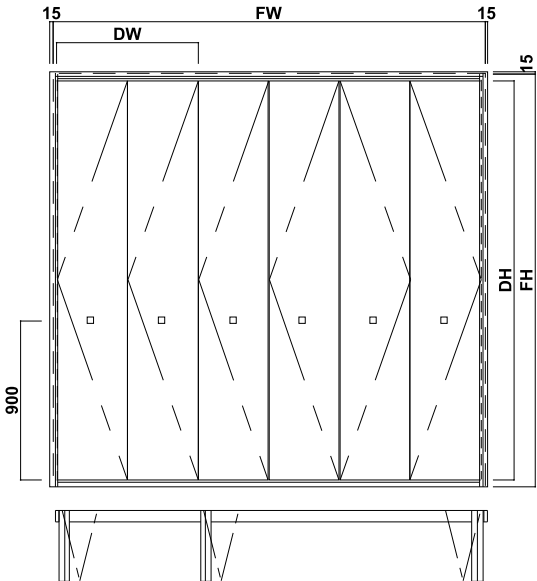
＜姿図／幅４５用＞



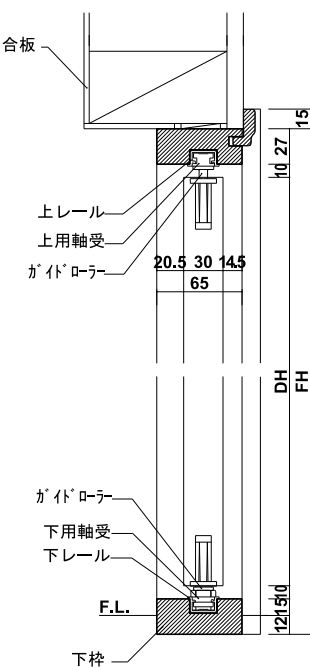
＜姿図／幅６０用＞



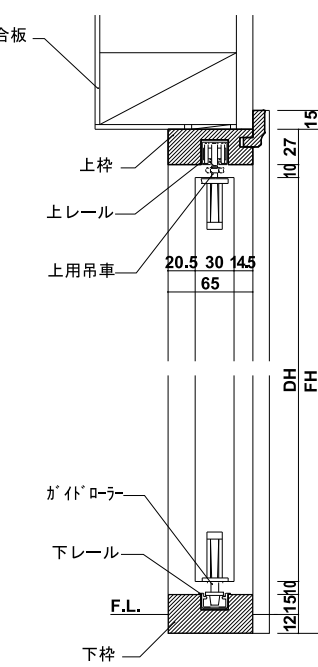
＜姿図／幅９０用＞



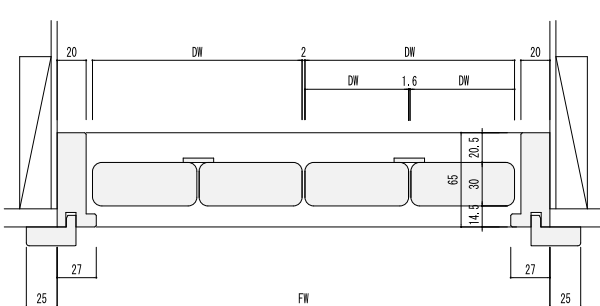
＜縦断面図／ピボット＞



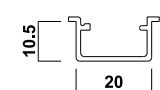
＜縦断面図／フルオープン＞



＜横断面図＞



＜下レール断面図＞



サイズ

枠	タイプ	枠見込 (mm)	スタンダード		カスタム	
			FW (mm)	FH (mm)	FW (mm)	FH (mm)
四方枠	幅３０用	(固定枠) N：７０ (ケーシング枠) K：６５	７５５	２０４０ ２３４０	７００～８００	１９５０～２０４０ ２２５０～２３４０
	幅４５用		１１８５		１０５０～１２００	
	幅６０用		１６５０		１４００～１７００	
	幅９０用		２４５０		２１００～２６００	

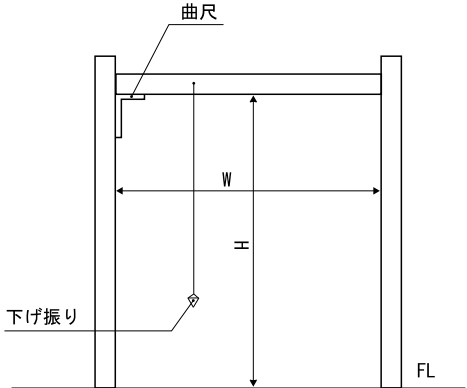
取付け順

１．開口部の確認

- 扉枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。

タイプ別サイズ品番

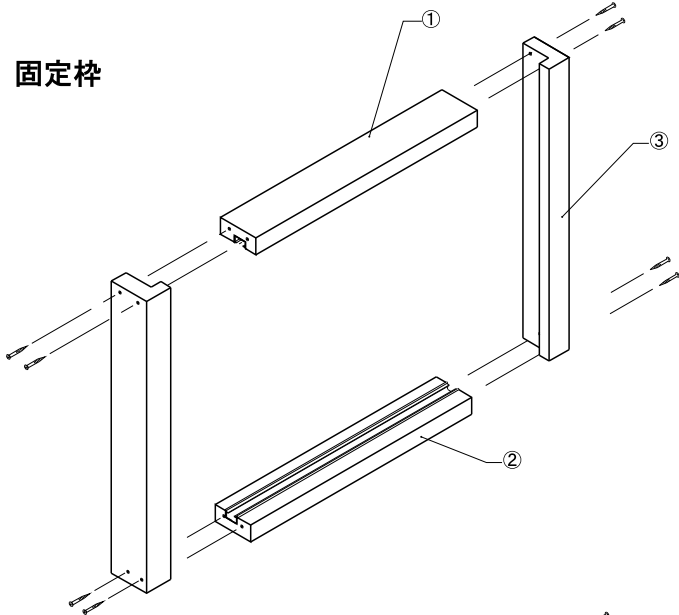
タイプ	サイズ品番	標準仕様
幅３０用	７１	ピボット
	８１	
幅４５用	７２S	
	８２S	
幅６０用	７２	フルオープン
	８２	
幅９０用	７３	
	８３	



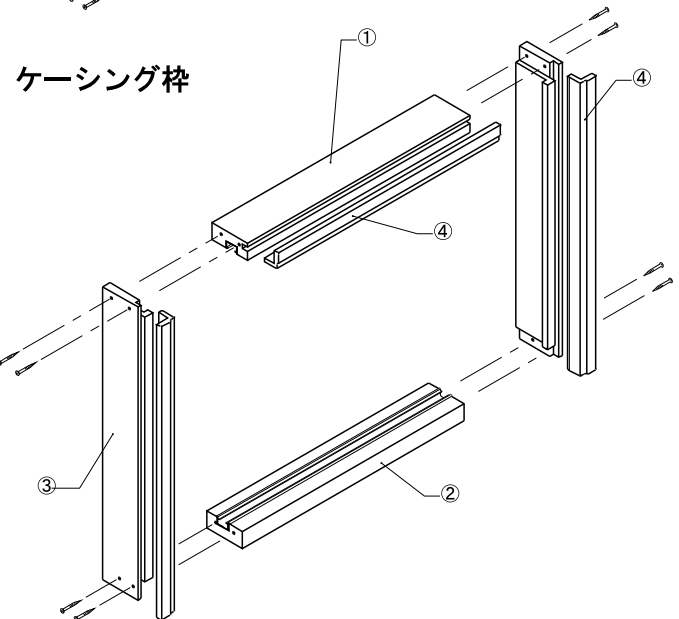
２．枠の組立てと取付け

- 上枠に取付けてあるレールをはずしてください。
- 枠組立て用木ネジにて、枠の組立てを行ってください。
- 組上げた枠を開口部にはめ込み、クサビ等で上下・左右・前後・倒れ等を調整して位置を決めてください。
- 枠取付け用木ネジでマグサ・躯体にしっかりと固定してください。（縦枠はリード穴をあけて）キャップ付ビスをご使用ください。
- 上枠はレール溝より取付けてください。
- 切断加工面等を補修セットでタッチアップし、目立たないようにしてください。

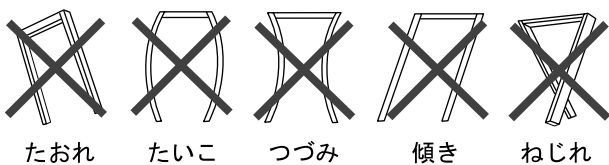
固定枠



ケーシング枠



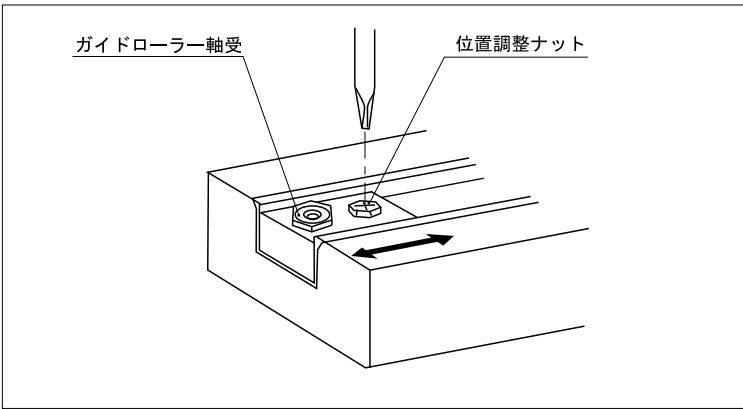
- ※木ネジ止め時には、枠に傷をつけないように止めてください。
- ※クサビ等は、左右４個・上２個位を平均して調整を行ってください。木ネジはクサビ等がある場所へネジ止めしてください。
- ※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. 扉の取付け

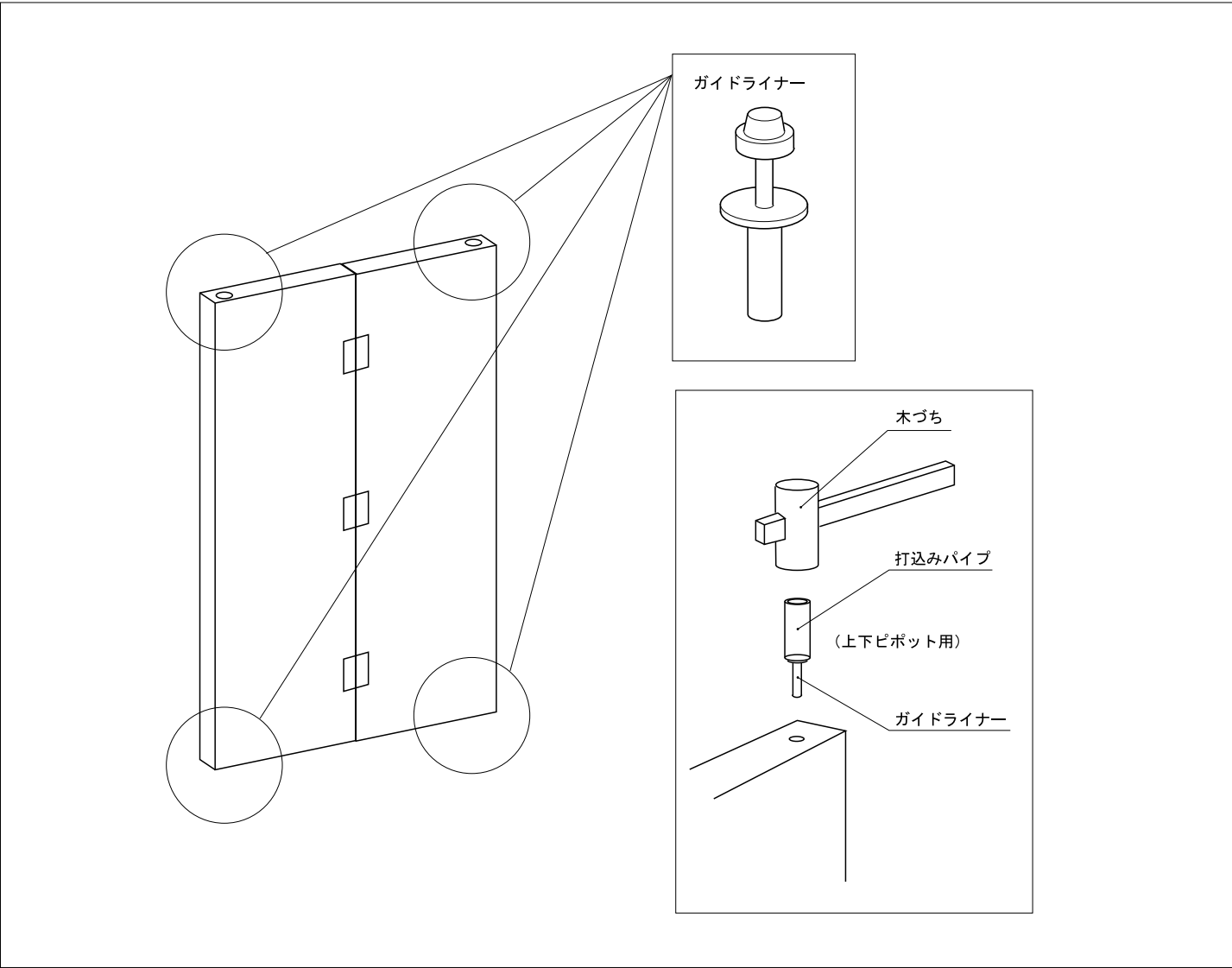
ガイドローラーの軸受け

- 右図のように位置調整ナットを緩め、レール端よりセットし固定してください。



ガイドローラーのセット

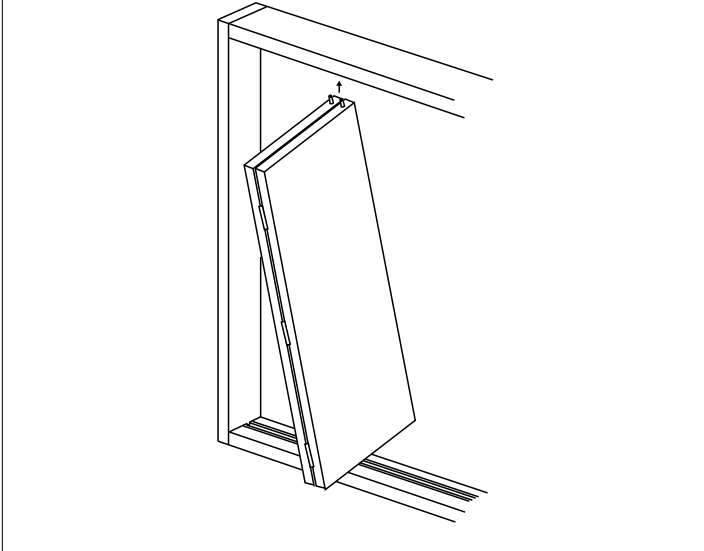
- 下図のようにガイドローラーを取付けてください。
- ※右下図のように打込みパイプを必ず使用して木づち等で取付けてください。



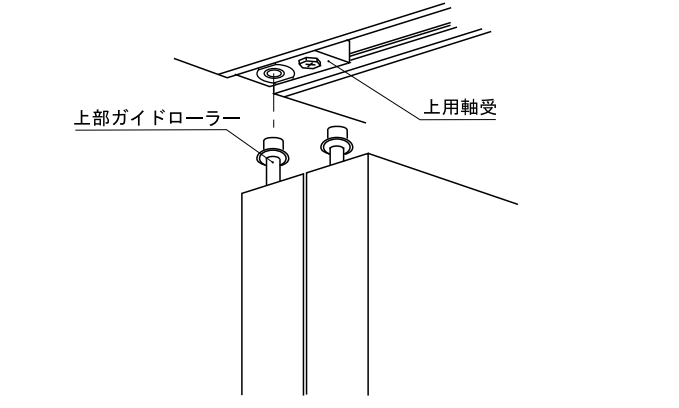
4. 扉の吊込み

- 図Aのように扉を斜め方向に傾け、図Bのように吊元側の上部ガイドローラーを上用軸受にはめ込んでください。
- 図Cのように吊元側の下部ガイドローラーを下用ガイドローラーを下用軸受にはめ込んでください。
- 図Dのように上下作動側に取り付けてあるガイドローラーを上下レールにセットしてください。

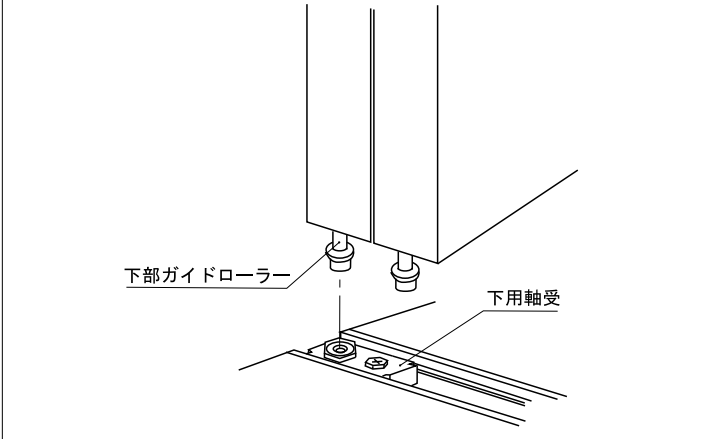
図A 扉を斜め方向に傾ける



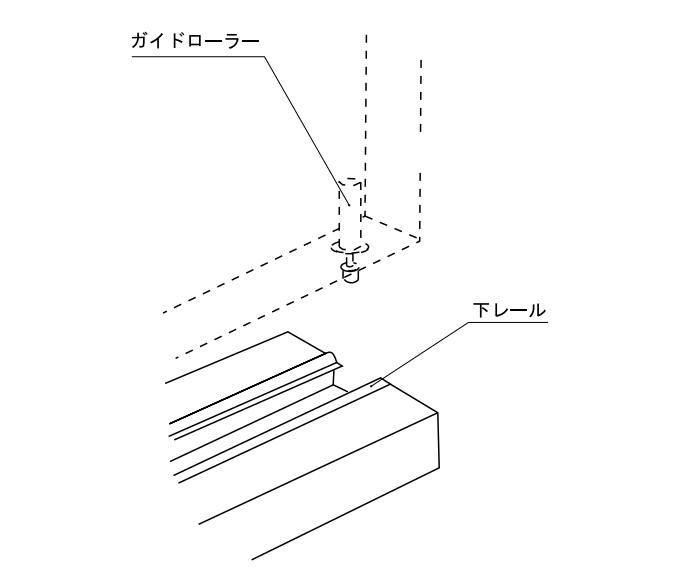
図B 上部吊元側のはめ込み



図C 下部吊元側のはめ込み



図D 上部作動側のガイドローラーの取付け

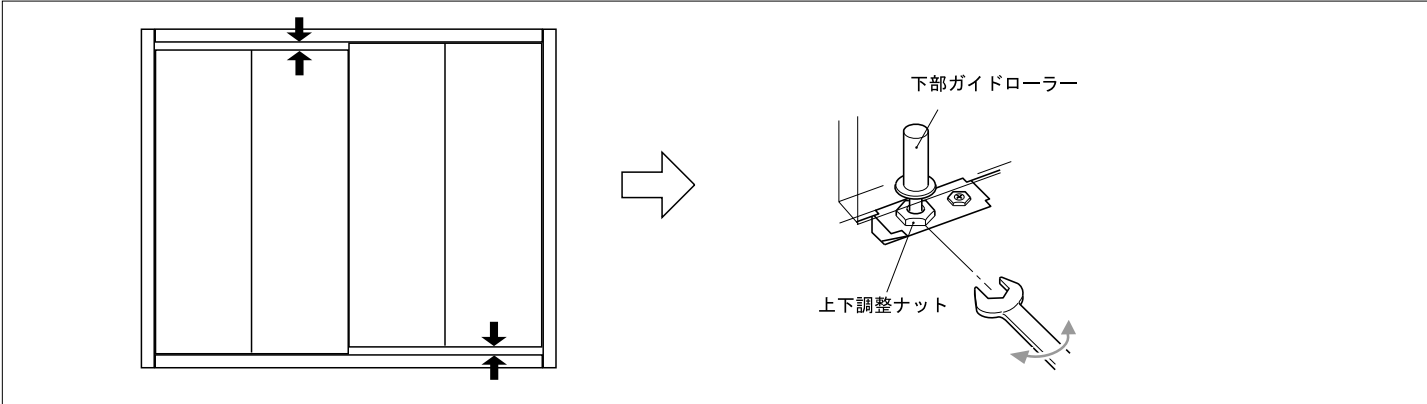


5. 扉の調整

扉の建付け調整

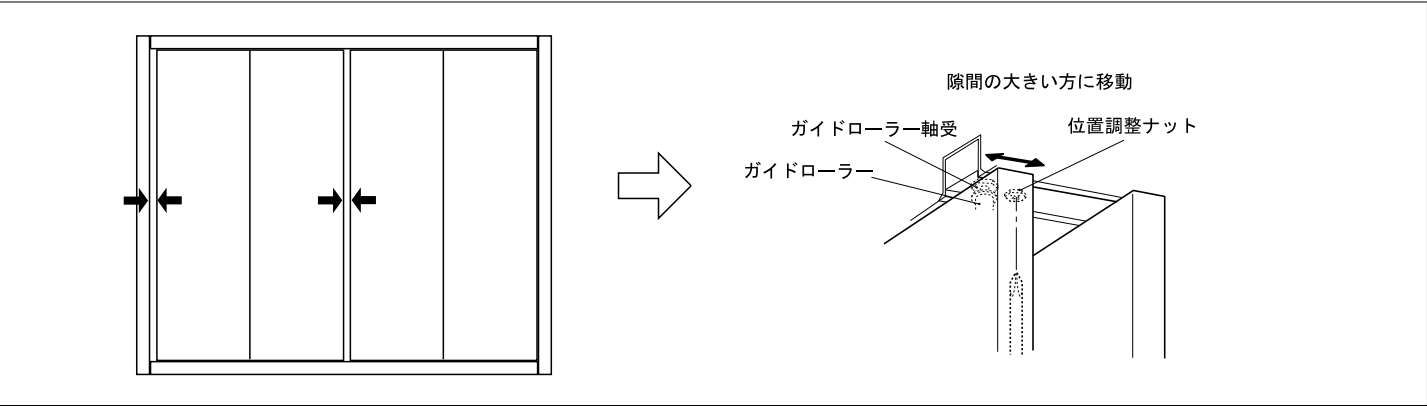
上下のチリ（隙間）調整

- 扉の取付け後、上下のチリが合っていない場合は下図のように下用軸受の上下調整ナットを回して調整してください。



左右のチリ（隙間）調整

- 扉の取付け後、左右のチリが合っていない場合は下図のようにガイドローラー軸受の位置調整ナットをを緩め、ガイドローラー軸受を移動させてください。



フルオープン用（扉の取付け）

金具の取付け

- 上下の車は、まずAネジを緩めて、固定カップ部とホルダー部とを分離してください。
- それから、固定カップ部の方だけを戸の裏面加工部に取付けてください。

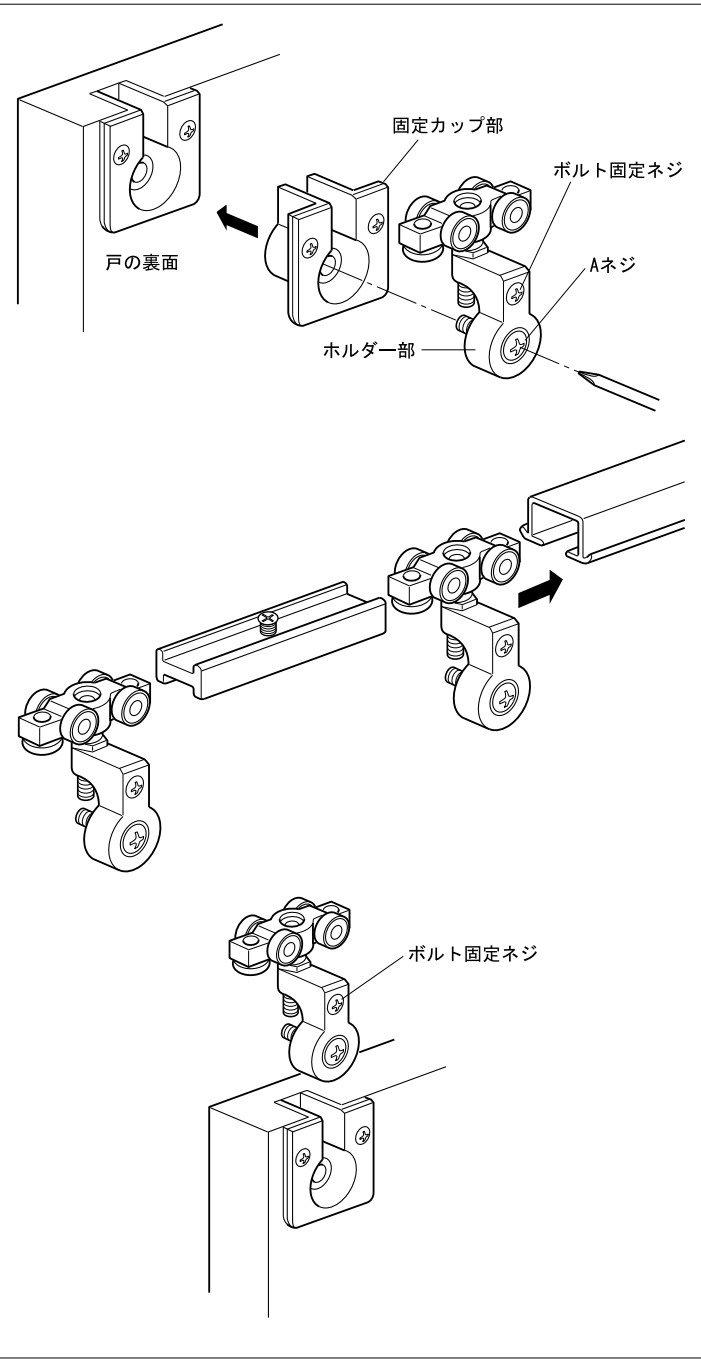
レールの取付け

- まず、レールを取付ける前に、図に示す順序でレールの中に上下の車それぞれのホルダー部と走行安定用ガイドを入れておきます。
- それから、レールを加工溝に入れて、ネジ止めします。

戸の吊込み

- レールの中に入れておいたホルダー部と、戸に取付けておいた固定カップ部とを、Aネジで固定します。

※ご注意：吊込み終了後は、必ずボルト固定ネジをドライバーでしっかりと締付けてください。



4.5 尺用（片開扉の調整）

●扉の上下・左右調整

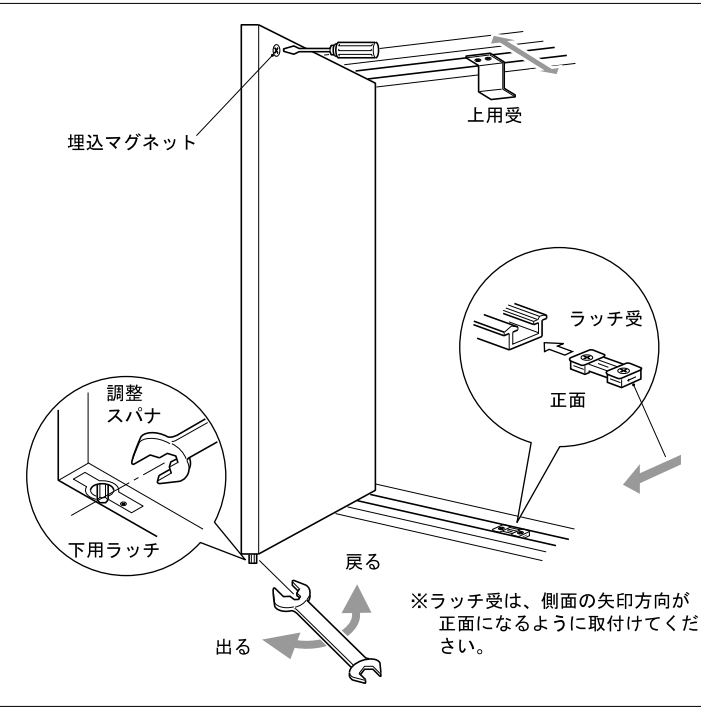
上下・左右の調整方法はピボットタイプと同様に調整してください。

●ラッチの調整

下用ラッチのとびだしは、軸部を調整スパナで回すことで上下します。

●マグネットの調整

上用受の前後調整は、適当なところに合せます。微調整は、埋込みマグネットをマイナスドライバーで回して行ってください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等で枠・扉の養生を行ってください。扉には梱包の養生マットをご使用ください。養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

⚠ ご注意 ⚠ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。